

ちぬ

CHINU



100周年記念特集

創立 100 周年記念式典・祝賀会

学校法人浪商学園
創立100周年記念式典・祝賀会

NAMISHO GAKUEN
100th Anniversary
Ceremony and Celebration

2022.11.06 (Sun)



学園広報誌 ちぬ の由来

浪商学園に勤務する教職員の交流を図るために発行された学園広報誌「ちぬ」。茨木時代は校舎前（現在の浪商幼稚園前）を流れる安威川より名を冠した「あいがわ」でしたが、熊取移転に伴い「ちぬ」と改められました。「ちぬ（茅渟）」とは奈良時代から見える和泉地方の呼称。「古事記」神武天皇条にも見え、大阪湾を「ちぬの海」ともいい、浪商中学校・高等学校、大阪青凌中学校・高等学校の校歌でも歌われています。

浪商学園初のロゴマークを制定しました
2022年度 組織風土改革プロジェクトからの報告



100周年記念事業を振り返って 理事長 野田賢治

学園創立70周年の記念式典・祝賀会を計画するにあたり「今後の少子化を考えると、次に盛大な式典を開催するとすれば、100周年までないな。その時俺もまだ95才や。やれるわな」自分に言い聞かせるように、前理事長がつぶやいた。

それから20年が経ち、2011年創立90周年を迎えた時、10年後すなわち創立100年時の各設置校の目標を定める中で、創立100周年を強く意識するようになった。と同時に、教職員の記憶に残るものにしないといけないと思った。

2012年8月、大成建設株式会社様から、青凌中高の島本町へ移転する意向打診があった。

2002年にあったダイオキシンによる風評被害以来懸念であった青凌の移転が、実現にむけて大きく動き出した。同年12月21日に理事会を開催し、移転計画を説明。審議の結果承認された。改めてこの時、100周年にふさわしい事業であると確信し、何としても成功させなければならないと思った。本当に多くの方々のご協力により、2020年4月に移転開校することができた。

2015年大学が50周年を迎え、大島鎌吉、加藤橋夫両先生の名を冠した賞が創設された。その時、中興の祖であり、大学の初代学長でもある野田三郎の名を、何らかの形で残したいと思った。そこで100周年を記念して、時代の要請にも応える形で、給付金奨学金制度を作り、野田三郎の名を冠することを考えた。合わせて100周年記念募金も要項を作り、理事会承認を得て実施することになった。

本家本元の浪商高校では、2018年に特別教育棟「100周年記念会館」を建設した。また、2022年11月、日本一になった男子ハンドボール部による招待試合をメインイベントとする、100周年記念事業を企画し、卒業生保護者の皆さんも招待し、丸善インテックアリーナ（大阪市立中央体育館）で開催した。式典・祝賀会の直後の開催の上、入場制限の必要ない会場ということもあって、式典・祝賀会の足りないピースを埋める意義のある行事となった。

大阪体育大学浪商幼稚園においては、2018年11月、100周年記念事業の一環として、創立70周年記念式典・祝賀会を開催した。当日は、幼稚園まつりの翌日ということで、園児たちの力作を鑑賞し、お茶席を設け、来賓の皆様楽しんでいただいた。70年の伝統と、幼稚園ならではの手作り感と温かさを感じていただけたかと思う。

100周年を前に、青凌中高吹奏楽部の顧問から、100周年記念楽曲の制作を著名な作曲家の方に依頼したいという相談があった。もちろん二つ返事でOKした。学園に新しい文化が生まれるようでワクワクした。2021年3月の定期演奏会で披露され、すばらしい楽曲と、すばらしい演奏に、客席で聞いていた私も感動で目頭が熱くなった。

ある日突然、大学のダンス部の学生たちが理事長室を訪ねて来た。100周年を記念して創作されたオリジナルダンス「Namiダン」。聞いてはいたが、私も踊るとは思わなかった。ダンスの出来はさておき、すべての設置校の教職員が「Namiダン」で一つにつながったと感じた。「Namiダン」の創作、そして映像づくりに協力いただいた教職員・学生諸君に心から感謝したい。

2022年11月6日、満101才を迎える直前、何とかすべり込みで100周年の式典・祝賀会を開催することができた。学園発展に寄与していただいた先人に、立派な報告会を実施することができた。前に述べたように、全設置校の教職員が、それぞれの100周年を表現して最後に一つにまとめ、次の100年に向けて歩みを合わせて前進している姿ははっきりと見て取れた。

すべての教職員の皆様に感謝して100周年の振り返りとします。

創立100周年 記念式典・祝賀会を開催

創立100周年記念式典・祝賀会が令和4（2022）年11月6日（日）、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で開催され、来賓、各学校法人の理事長・学長・校長ら関係の方々、浪商学園の理事・評議員や各設置校の関係者、退職された教員、保護者会、同窓会の皆様など約430名にご参加いただきました。

式典は記念式典と記念祝賀会の2部構成。第1部の式典の祝辞では、大阪私立中学校高等学校連合会会長の辻本賢様、日本私立大学協会副会長の谷岡一郎様、一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会理事で日本体育大学学長の石井隆憲様（同協議会会長・日本体育大学理事長



の松浪健四郎様の代読）からお言葉をいただきました。また、室伏広治スポーツ庁長官からビデオメッセージが寄せられ上映されました。

来賓紹介、祝電披露の後、野田理事長が記念講演を行い、学園が火災や震災などで危機に瀕するたびに野球部が甲子園大会で優勝した不思議なめぐり合わせなど学園の歴史について語りました。

第2部の記念祝賀会は大阪体育大学浪商高等学校同窓会会長のご発声で開宴し、「浪商学園創立100周年の軌跡」の映像などが紹介されました。

記念祝賀会では、浪商学園の「100周年ビジョン」と100周年を機に制作されたロゴが、野田達彦企画室長から発表されました。このほか、記念映像の披露として、創立100周年を記念して作曲された「かざろひ～夜明の光～」の大阪青凌中学・高等学校吹奏楽部による演奏や、オリジナルダンス「Namiダン」が紹介されました。

また、各設置校の発展に功績があった4名に野田三郎教育功労賞が贈られ、大阪体育大学浪商高等学校第8代・中学校第7代校長の安達勝氏、大阪体育大学浪商幼稚園第2、4代園長の野田むつ氏、大阪体育大学第4代学長・同短期大学部初代学長・大阪体育大学附属福祉専門学校初代

校長の田口守隆氏、大阪青凌中学校・高等学校初代校長の清田辰夫氏に授与されました。

最後に西尾一実専務理事が謝辞を述べて終宴しました。



動画ニュースは
こちらから



Topics

浪商学園初のロゴマークを制定しました

令和3(2021)年に浪商学園は100周年を迎え、これを記念し、浪商学園のロゴマークを制定することとなりました。

ロゴマークには大きく4つの想いを込めました。「建学の精神」、「NAMISHOのN」、「自立と飛躍」、「シンプルでわかりやすいデザイン」の4つです。これらの想いを具現化したのが今回作成したロゴマークになります。

「N」と創立年と浪商学園をベースとし、色も学園が昔から使用してきたブルーを基調としています。ロゴ全体のデザインとして飛躍を表す右肩上がり、「N」の両端は自立するという意味を込め左右対称としています。また、「N」を3本線で区切っているのは建学の精神の「智・徳・体」の3つを表しています。

今後はホームページ等、さまざまな媒体で使用していく予定です。

基本形



アルファベット基本形

シンボルマーク単体使用





浪商学園和文

浪商学園欧文





【学校法人浪商学園 ロゴマークの使用方法について】

学園ロゴマークに関する「使用マニュアル・規程」「各種ロゴデータ」を各設置校にお渡しいたします。使用につきましては、「使用マニュアル・規程」を遵守いただき、適切にご使用ください。ご不明な点は総務部企画室までお問い合わせください。

企画室 Mail : 31150000@ouhs.ac.jp

組織風土改革プロジェクトからの報告

組織風土改革プロジェクトの活動にご賛同、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度の組織風土改革プロジェクトは、行動指針・「SFGs」の推進、業務スキル基準表の検討を軸としてさまざまな活動を行ってきました。

クレドカードを刷新

- 「SFGs17の目標」を1枚のカードに
- 学園教職員全員に対象を拡大



クレドカード

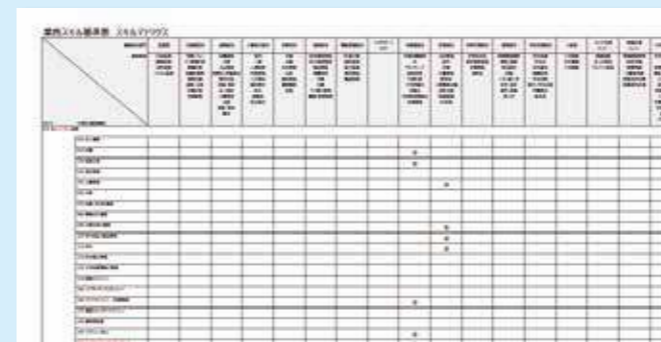
組織風土をより良くしたで賞

- SFGsに、より親しみを持っていただくため、チェックリストで行動を可視化。
- 目標達成者全員を表彰(今年度は1月25日に締め切り)



業務スキル基準表

- 各部署の業務の把握のため、総務部と共同でひな型を作成
- 令和5(2023)年度より本格的に作成開始



通信教育 / webSDセミナー

- 各人の目的とプランに合わせて、「通信教育」を受講
- SDセミナーの導入および参加の促進

2022年度 SDセミナー QuonAcademy 受講状況		
講座名	講座数	参加者数(延べ)
実務スキル	10講座	17人
ジェネリックスキル	7講座	19人
マネジメントスキル	4講座	10人
合計	21講座	46人



SD活動の促進に向けた取り組み/SD研修会の実施

- 自己研鑽を促進する取り組み
- 全職員対象の研修会を実施予定(3月15日)



ノー残業 Day メール配信

- 毎週金曜日にノー残業Dayメールを配信
- 野田三郎先生が応援しています



Topics

大阪体育大学 (大学院・体育学部・教育学部) https://www.ouhs.jp

●ハンドボール部女子がインカレ9連覇

ハンドボール部女子が令和4(2022)年11月の全日本学生選手権で9大会連続10回目の優勝。連覇記録を更新しました。日本代表の岡田彩愛、石川空両選手ら4名が優秀選手賞。楠本繁生監督は直後のアジア選手権も日本代表を率い準優勝しました。



試合終了後、歓喜の選手たち



●「運動部活動指導認定プログラム」を開講へ

国の方針で、全国の公立中学校が休日の運動部活動の地域移行を迫られている中、運動部活動指導に携わる人材を養成する講座を創設し、令和5(2023)年5月に開講します。「運動部活動指導認定プログラム」。春秋制で社会人が対象です。



9連覇達成、最長記録を更新

大阪体育大学浪商中学校・高等学校 http://www.ouhs-school.jp



人工芝グラウンド 完成予定図

●人工芝グラウンド3月完成予定

令和4(2022)年11月、人工芝改修工事がスタートしました。令和5(2023)年3月完成予定です。さらに充実した環境となり、授業や部活動だけでなく、生徒の憩いの場になることでしょう。

部活動においては中高合わせて15の部活動が全国大会に出場しました。高校のハンドボール部が全国優勝、女子バスケットボール部がウインターカップ初出場、中学のレスリング部(1名)がアジア大会優勝等、たくさんの部活動が頑張ってくれました。

大阪青凌中学校・高等学校 https://www.osakaseiryu.jp

●高校2年生の修学旅行(選択制)を3年ぶり3コースで実施

高校2年生の修学旅行(選択制)が、3年ぶりに、本来の3コースで令和4(2022)年10月に実施することができました。

北海道では、自然の中で行われる体験学習だけでなく、ホテルでの職業体験や、地元で活躍する社会人との交流会がありました。

沖縄では、太平洋戦争沖縄戦の激戦地であった場所を訪れ、また、石垣島と西表島では、他では見られない景観と自然に触れました。

オーストラリアのメルボルンでは、郊外の町で2日間ファームステイを体験、ホストファミリーと過ごし、英語でコミュニケーションをはかりました。

いずれの3コースも、生徒たちにとっては、将来の自分を考えるきっかけとなる貴重な経験になったと思います。



(オーストラリアコース)メルボルン近郊カントンでファームステイ



(北海道コース)豊かな自然の中で行われる体験学習



(沖縄コース)マングローブカヌー体験

大阪体育大学浪商幼稚園 https://www.ouhs.jp/kinder

●「避難訓練」を実施

令和4(2022)年12月9日、「避難訓練」を行いました。今回は通常の火災訓練の後、より大きな災害が発生した場合(大地震・洪水等)に備えて、この地域の避難場所の1つである茨木市立東市民体育館まで全園児が徒歩移動する訓練を行いました。



体育館まで2列横隊で徒歩移動



数々の手品を披露する先生たち

●恒例のクリスマス会

毎年恒例のクリスマス会。お遊戯室での先生方の手品にみんなは大興奮。暗闇の中を光が飛んだり消えたり、水がジュースに変わったり、トイレトペーパーが「うどん」になったりして、みんなは目を白黒させていました。

編集後記

コロナ禍の中で延期となっていた浪商学園創立100周年記念式典・祝賀会が2022年11月6日に開催されました。ご協力いただいた皆様のおかげで、当日は大きなトラブルもなく無事に終了を迎えることができました。ありがとうございました。

また、約5年にわたり続いた「ちぬ」における100周年記念特集も今号でひと区切りとなります。約3年間携わらせていただいて、学園の100年の軌跡を辿ることができたのは私にとって非常に良い経験となりました。

今回の経験を活かし、今後よりいっそう魅力的な内容の「ちぬ」を学園の皆様にお届けできるよう精進することを肝に銘じ、編集後記とさせていただきます。

[企画室長 野田達彦]



学校法人浪商学園 学園報 ちぬ No.062 令和5年2月14日発行

発行者：学校法人浪商学園 総務部企画室／発行責任者：野田達彦

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

TEL 072-479-3111 FAX 072-453-8972

学園ホームページ：<https://www.namishogakuen.jp/>

印刷・製本：株式会社毎日新聞大阪センター